

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総画合計	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画	第2次津市水道事業基本計画				
担当部局		上下水道事業局				
施策の内容(番号)		067 ~ 069				

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。	A	①	水道整備課 /水道施設課
068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。	A	①	水道整備課
069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。	A	①	水道施設課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821067
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
		関連個別計画	第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)			
	担当部局	上下水道事業局				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	067	小規模な水道施設の統廃合をできる限り行い、県営水道を活用しながら、効率的な施設の更新、耐震化を進めます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆	当初の事業実施計画		実施評価 事業評価
			誰	誰のための事業か	◇	事業評価の主な視点		
担当課	何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性				
067-1	建設改良事業	水道管路の整備工事	効	安全で良質な水道水の安定供給が持続的に受けられる	◆	第2次津市水道事業基本計画(H30～R9)に基づき、基幹管路耐震化事業及び老朽管更新事業を行う ・令和6年度末全体管路計画延長 L=70.0km ・全体管路計画延長 L=110.7km ・基幹管路計画延長 L=12.7km ・その他管路計画延長 L=98.0km	◎	管路全体において、計画通り整備が行われている。今後も第2次津市水道事業基本計画に基づき計画的に管路更新を行っていく。 整備延長(全体計画に対する進捗率)令和6年度末 ・全体管路 L=98.1km(88.6%) ・基幹管路 L=9.8km(77.2%) ・その他管路 L=88.3km(90.1%)
			誰	水道利用者	◇	管路整備延長(率)	○	
	水道整備課	何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	1,883,434 (千円)	現状維持			
067-2	建設改良事業	水道施設整備工事等	効	水道水の安定供給につながる	◆	第2次津市水道事業基本計画に基づき水道施設整備工事等を15件行う	◎	当初の計画どおり事業を実施し、設備の更新率は77.1%。今後の水需要減少を踏まえ、適正な施設規模への見直しを図るとともに、自己水源と県水受水の最適なバランスを検討し、安定した水源の確保に努める。
			誰	使用者	◇	第2次津市水道事業基本計画による計画的な実施	○	
	水道施設課	何	安心、安全でおいしい水の安定供給が受けられる	786,836 (千円)	現状維持			
067-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

施策の内容評価シート(令和6年度分)

067-4			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
067-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
067-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
067-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B	B	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821068
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画	第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
担当部局		上下水道事業局				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		068	水道施設を健全な状態で次世代へ引継ぎ、世代間の負担が公平となるよう、さらなる経営基盤の強化に取り組みます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
068-1	建設改良事業	水道管路の整備工事	効	安全で良質な水道水の安定供給が持続的に受けられる	◆ 第2次津市水道事業基本計画(H30～R9)に基づき、基幹管路耐震化事業及び老朽管更新事業を行う ・令和6年度末全体管路計画延長 L=70.0km ・全体管路計画延長 L=110.7km ・基幹管路計画延長 L=12.7km ・その他管路計画延長 L=98.0km	◎	管路全体において、計画通り整備が行われている。今後も第2次津市水道事業基本計画に基づき計画的に管路更新を行っていく。 整備延長(全体計画に対する進捗率)令和6年度末 ・全体管路 L=98.1km(88.6%) ・基幹管路 L=9.8km(77.2%) ・その他管路 L=88.3km(90.1%)
			誰	水道利用者	◇ 管路整備延長(率)	○	
	水道整備課	何	安全・安心でおいしい水の安定供給が受けられる	1,883,434 (千円)	現状維持		
068-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
068-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

068-4			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
068-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
068-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
068-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B	B	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	04	心やすらぐ住みよいまちづくり		
		基本政策	08	持続可能な都市基盤の整備	管理コード	040821069
		施策	21	安全な水の安定供給	本冊ページ	71
	関連個別計画	第2次津市水道事業基本計画(平成30年度～令和9年度)				
担当部局		上下水道事業局				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		069	定期的な水質検査の実施により、水質の汚濁を防止し、清浄な水を確保します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	◎ 今後の方向性	
069-1	工業用水道事業会計	工業用水道の水質検査	効	工業用水道の安定供給につながる	◆ 第2次津市水道事業基本計画に基づき工業用水道の水質検査を12回行う	◎	工業用水道事業に係る水質検査業務委託により、5項目12回の検査を実施した。今後も継続して計画どおり検査を行う。
			誰	使用者	◇ 水質検査の実施率	○	
	水道施設課		何	工業用水道の安定供給を受ける	729 (千円)	現状維持	
069-2	水道事業会計	水道水の水質検査	効	安心・安全でおいしい水の安定供給につながる	◆ 第2次津市水道事業基本計画に基づき給水栓の水質検査を12回行う	◎	水質検査計画に基づき、給水栓46箇所について12回検査を実施した。今後も継続して計画どおり検査を行う。
			誰	使用者	◇ 水質検査の実施率	○	
	水道施設課		何	安心・安全でおいしい水の安定供給が受けられる	36,402 (千円)	現状維持	
069-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
069-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

069-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
069-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
069-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
069-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	B	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

